

選考委員賞

「水は大切」

赤坂小学校 五年 井上万鈴

今、世界、そして日本で水不足と環境について問題になっている。水は、人間が生活するうえで最も必要で大切な資源である。

戦争のあった昔とは違い、現在は日本も豊かになり蛇口をひねれば水が出るのはあたりまえと考えている私達は、水の大切さや水不足の危機感など、あまり深く考えることはないだろう。果たしてそれでよいのだろうか。

今、地球温暖化による異常気象でさまざまな問題が起こっている。だからこそ私達は、この問題についてもっと真剣に考えなければならぬと思う。

水は飲み水としてはもちろん、料理や洗たく、トイレなど日常生活には不可欠だが、雨のふらない日が続いたり、台風などの自然災害によって、水が止まればトイレが流せず、手も洗えず入浴ができない、などの不便も出てくる。それどころか、水も飲めずに食事も作れなければ生死にかかわってくる。

以前私は、母が実際に体験した水害について聞いたことがある。それは、平成五年八月に鹿児島市を中心におそった集中ごう雨、いわゆる八・六水害です。母はいままで経験した事のないごう雨に命の危機さえ感じたそうです。その水害によって、たくさんの命もうばわれ、生活も断水が一週間程続き、とても大変だったとの事です。その時私は、母の話を何気に聞いていたが当時水害にあった人達の苦労は、はかりしれないものだったと改めて思った。

私が思っていた以上に大切な役わりを果たしている水。今の私には、水のないう生活など、とても考えられない。ましてや一週間の断水なんて、考えただけでも「ゾッ」とする。

でも、私達が安心して水を使うことが出来るのは、かげで働いている人達がいるからだと思う。ダムを作る人、水を送る人、水をきれいに保つ人達の努力、それにたずさわっている村や町の人々の協力、理解があつてこそ、はじめて私達のもとへ安全な水がとどくのだ。このように、私達日本人は大変めぐまれており、日本の豊かさに感謝しなければならぬのだと思う。なぜなら、この地球上には毎日のくらしに使う水が足りずに困っていたり、安全な水が出てくることを心から望んでいる地域がたくさんあるからだ。

世界で水不足が心配されている今、たった一ぱいのコップの水で、世界の人々の命を救うことが出来るのかもしれない。

水だって限りある資源。だからこそ私達は限りある水を大切にし、そして、守っていかねばならないのだ。